

第4回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会

とき 平成23年11月17日（木）午後2時15分から

場所 御嵩町役場3階 大会議室

開 会

1 あいさつ

2 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）のこれまでの経緯について

3 報告事項

- (1) 書面決議による平成23年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業計画及び歳入歳出予算の承認について

4 議 事

- (1) 平成22年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業報告及び歳入歳出決算の認定について

- (2) 平成23年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会歳入歳出補正予算（第1号）について

5 名鉄広見線活性化計画の進捗状況について

6 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の最近の状況について

7 東濃高校の定数と今後の取り組みについて

8 意見交換

閉 会

第4回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会（H23.11.17）出席者名簿

<顧問>

	役職名等	氏名	備考
県議会	岐阜県議会議員	小原 尚	
	岐阜県議会議員	村上孝志	

<委員>

	役職名等	氏名	備考
首長	会長	御嵩町長	渡邊 公夫
	副会長	可児市長	富田 成輝
	副会長	八百津町長	赤塚 新吾 (代理)
議会	監事	御嵩町議会副議長	大沢まり子
	監事	可児市議会議員	可児 慶志 (欠席)
		八百津町議会副議長	徳田 弘司
		御嵩町議会名鉄広見線対策特別委員会委員長	加藤 保郎
		可児市議会名鉄広見線対策特別委員会副委員長	中村 悟
教育関係者		御嵩町教育長	丹羽 一仁
		可児市教育長	大杉 一郎
		八百津町教育長	有賀 昌司 (欠席)
		可茂地区高等学校PTA連合会会長	西田 豊司 加茂農林高等学校
		可茂地区高等学校校長会会長 (可児工業高等学校校長)	山田 豊和 (欠席)
		岐阜県立東濃高等学校校長	沢井 和弘
		岐阜県立東濃実業高等学校校長	亀山 芳久 (欠席)
経済関係者		岐阜県立八百津高等学校校長	飯田 健二
		御嵩町商工会	寺尾 光彦
		可児商工会議所	桑下 和弘
		八百津町商工会	佐合 重光
		御嵩町観光協会	伊崎 公介
住民代表者		可児市観光協会	林 則夫
		御嵩町自治会長連絡協議会	山田 敏宏
	可児市自治連絡協議会	奥村 幸生	

<関係者（指導・助言）>

	役職名等	氏名	備考
国	国土交通省中部運輸局鉄道部専門官	二輪 昭宏	
岐阜県	岐阜県都市建築部公共交通課長	森嶋 和美 (代理)	

<事務局>

	役職名等	氏名	備考
御嵩町	総務部長	鍵谷 昌孝	
	企画調整担当参事	三輪 康典	
	企画課 課長	加藤 暢彦	
	企画課 係長	早川 均	
可児市	企画部長	古山 隆行	
	総合政策課 課長	佐藤 誠	
	総合政策課 係長	肥田 光久	
八百津町	産業課 課長	藤本 春喜	
	産業課 課長補佐	山内 好仁	

第4回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 議事等綴り

○名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）のこれまでの経緯について

○報告事項

- (1) 書面決議による平成23年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業計画及び歳入歳出予算の承認について

○議 事

- (1) 平成22年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業報告及び歳入歳出決算の認定について
- (2) 平成23年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会歳入歳出補正予算（第1号）について

○名鉄広見線活性化計画の進捗状況について

○名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の最近の状況について

平成23年11月17日

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）のこれまでの経緯概要

名鉄広見線概要	営業キロ：	7.4km
(新可児～御嵩駅間)	駅数：	5駅(有人駅:新可児)
	運行本数：	(平日)80本/日、(土休日)72本/日、基本ダイヤ2本/時
	列車組成：	2両
	利用者数：	平成11年度 1,827千人/年
		平成21年度 1,009千人/年
		平成22年度 995千人/年

H12 鉄道事業法改正 路線廃止手続きが、許可制から届出制になった。
→後に八百津線等廃止へと繋がる。

平成18年1月26日～平成19年9月28日 名古屋鉄道株式会社（以下「名鉄」と表記。）、御嵩町・可児市の三者により利用促進等について協議（路線の利用状況の報告、利用促進策の意見交換などを実施）

H19年11月2日 名鉄側から、年間赤字額が2億円を超え、このままでは、この路線を維持できない旨の申し出があった。

H20年5月2日 第1回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催
可児市、御嵩町、八百津町が名鉄広見線の存続問題に対する対応策を調査、協議することを目的として設立

H21年2月23日 第4回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催
名鉄の運行を前提に、協議会の組織・団体が、利用者を増やすための施策を展開し、併せて名鉄への運行費支援を検討していくことを決定

H21年7月9日 第5回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催
平成22～24年度までの3年間で年間利用者数を約120千人増加させ、約1,111千人とすることを決定し、併せて名鉄の赤字補填として年1億円（御嵩町7千万円、可児市3千万円）の支援を行っていくこととした。

H22年3月29日 第7回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会を開催
対策協議会を活性化協議会に名称変更し、住民・経済団体、行政、国・県、事業者がそれぞれ主体となって、名鉄広見線活性化計画に基づき、利用促進策を実施していくことを決定した。

H22年4月1日～ 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会に名称を変え、活性化計画に基づき、広見線利用促進のための具体的な事業を実施中

書面決議による第3回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会議事録

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会の決議があったものとみなされた事項の内容

- (1) 平成23年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業計画の承認
- (2) 平成23年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会歳入歳出予算の承認

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会の決議があったものとみなされた日

平成23年4月26日

1. 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

名鉄広見線活性化協議会事務局 加藤 暢彦

以上のとおり、協議会規約第8条第2項の規定により、協議会の決議があったものとみなされたので、決議を明確にするため、活性化協議会会長及び議事録作成者がこれに記名押印する。

(参考) 協議会規約抜粋

第8条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず、会長は書面による賛否を求めて、会議の決議に代えることができる。

平成23年4月26日

第3回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会

会長 御嵩町長 渡辺 公夫

議事録作成者 加藤 暢彦

平成 22 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 事業報告及び歳入歳出
決算の認定について

・平成 22 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業報告（案）

項目	実施日	内容
第 1 回活性化協議会 （書面決議）	平成 22 年 7 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度対策協議会事業報告の承認 ・平成 21 年度対策協議会歳入歳出決算の承認
第 2 回活性化協議会	平成 22 年 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・書面決議による平成 21 年度対策協議会事業報告及び歳入歳出決算の承認 ・名鉄広見線の最近の状況 ・名鉄広見線活性化計画の進捗状況について
利用促進事業	通 年	利用促進・意識啓発事業 など

平成 22 年度 名鉄広見線活性化協議会利用促進事業のまとめ

項目	実施内容	H22 年度利用者数	備考
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学、体験学習など ・保育園行事 ・夏休みプール(定期券購入) <p style="text-align: right;">(小計)</p>	<p style="text-align: right;">2,312 人</p> <p style="text-align: right;">2,031 人</p> <p style="text-align: right;">1,380 人</p> <p style="text-align: right;">5,723 人</p>	<p style="text-align: center;">目標利用者数 5,840 人 (達成率 98.0%)</p>
2. 経済団体を主体とする利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・オヤコクエスト ・エコビアガーデン ・Wind5 月号連携事業 ・わいわい館活用交流事業 ・団体助成制度 ・フォトコンテスト <p style="text-align: right;">(小計)</p>	<p style="text-align: right;">2,520 人</p> <p style="text-align: right;">518 人</p> <p style="text-align: right;">262 人</p> <p style="text-align: right;">1,000 人</p> <p style="text-align: right;">697 人</p> <p style="text-align: right;">50 人</p> <p style="text-align: right;">5,047 人</p>	<p style="text-align: center;">目標利用者数 8,760 人 (達成率 57.6%)</p>
3 移動環境の整備による利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩駅南駐車場 ・E-COバス運行事業 ・レンタサイクル事業 <p style="text-align: right;">(小計)</p>	<p style="text-align: right;">18,650 人</p> <p style="text-align: right;">32,847 人</p> <p style="text-align: right;">239 人</p> <p style="text-align: right;">51,736 人</p>	<p style="text-align: center;">目標利用者数 43,400 人 (達成率 119.2%)</p>
4 住民団体・サポーター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ささゆりまつり ・ささゆりウォーキング ・みたけ夏まつり ・御嵩町産業祭 ・中山道ウォーク ・御嵩町職員会事業 ・可児市互助会事業 <p style="text-align: right;">(小計)</p>	<p style="text-align: right;">862 人</p> <p style="text-align: right;">4,367 人</p> <p style="text-align: right;">1,132 人</p> <p style="text-align: right;">290 人</p> <p style="text-align: right;">800 人</p> <p style="text-align: right;">1,320 人</p> <p style="text-align: right;">1,040 人</p> <p style="text-align: right;">9,811 人</p>	<p style="text-align: center;">目標利用者数 2,190 人 (達成率 448.0%)</p>
5 通勤等での利用促進事業	<p>電車通勤モニター事業</p> <p style="text-align: right;">(小計)</p>	<p style="text-align: right;">3,764 人</p> <p style="text-align: right;">3,764 人</p>	<p style="text-align: center;">目標利用者数 3,650 人 (達成率 113.1%)</p>
合 計		76,081 人	<p style="text-align: center;">目標利用者数 63,840 人 (達成率 119.2%)</p>

1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進事業

1) 遠足、社会見学等における利用

H22年度 目標利用者数	3,650人	利用者実績	5,723人	達成率	156.8%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
電車を活用した学校等行事	保育園 幼稚園 小学校 中学校 高等学校など	・社会見学、校外学習など 小中高校=2,312人 幼保育園=2,031人 ・御嵩小プール定期券利用 顔戸地区児童延べ1,380人	・運賃補助(4割) 小中高校(17事業)へ補助 幼保育園(24事業)へ補助	広見線利用者数	
可児市文化創造センター中学校音楽会	中学校	・向陽中学校	・会場使用料補助	広見線利用者数	
交通環境学習カリキュラムの導入	小学校	・日常生活や行動が環境問題や交通問題の解決に貢献できるという喜びを実感することを目標として、「交通・環境学習」を実施する。	御嵩町予算	対象児童の意識	

2) 児童・生徒などによる活性化

H22年度 目標利用者数	2,190人	利用者実績	0人	達成率	0.0%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
保育園や小学校による七夕飾りや作品掲示	保育園 幼稚園 小学校	・園児や児童の駅飾り等を実施し、電車への関心を園児や児童の頃から育む。	ポスター掲示用消耗品 など	広見線利用者等の意識	
学生・生徒による駅舎美化活動	高校生 大学生	・御嵩口、顔戸、明智各駅美化(ペンキ塗装)によるマイルール意識の向上と意識啓発	材料代 など	広見線利用者等の意識	
利用者カウンタ機器製作・設置	高校生	・高校生の学校活動として、駅乗降客数をリアルタイムで測るための簡易な機器を作成し、利用状況を駅等に表示する。	機器等製作費 など		
高校生等の視点による情報をまとめ記事として掲載	高校生等	・高校生や地域住民、これから利用する中学生などの声、沿線いいこと探し(自然、お店など)など協議会事務局が発行するニュースレターの一部として記事掲載を担う。	ニュースレター製作、発行費	沿線住民等の意識	

2. 経済団体（商工会・商工会議所、観光協会等）を主体とする利用促進事業

1) まちづくり等との連携

① 既存のまちづくりイベントや催し物との連携

H22年度 目標利用者数	450人	利用者実績	0人	達成率	0.0%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳		フォローアップ指標
<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町産業祭 ・中山道御嶽宿往来 ・よつてりやあみたけ夏まつり ・可児夏まつり ・みたけの森ささゆりまつりなど 	商工会・商工会議所、観光協会等	・資源を活かし、活性化に向けて実施している既存のイベントを広見線利用者へ結びつける。 イベントおもてなし事業費	イベントおもてなし事業費		広見線利用者数

② 新たなまちづくりイベントや催し物との連携

H22年度 目標利用者数	4,200人	利用者実績	2,520人	達成率	60.0%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳		フォローアップ指標
地域資源発掘とバスツアープランニング事業	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会・商工会議所、観光協会等 ・大学生 	・経済団体や学生などにより地域の史跡、商店などを活かした沿線駅発着バスツアーのプランを作り、観光事業者等にPRする。	学生等旅費 チラシ印刷代 など		広見線利用者数
地域資源発掘とウォーキングコースプランニング事業	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会・商工会議所、観光協会等 ・大学生 	・経済団体や学生などにより中山道など地域の資源を活かした沿線駅発着ウォーキングコースのプランを作り、近隣市町村を含め広くPRする。	御嵩駅沿線ウォーキングマップ		広見線利用者数
駅弁等おもてなし料理コンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化協議会 ・商工会・商工会議所、観光協会等 	・観光客など来訪者へのおもてなしのため、地域資源を活かした駅弁コンテストを実施し、商品化に向けた検討を行う。	報償費 チラシ印刷代 など		コンテスト参加者数
企画提案型利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化協議会 ・御嵩町 	・オヤコクエスト 御嵩町地域探検事業として実施	事業費助成 (御嵩町予算)		広見線利用者数

③ 駅周辺における交流

H22 年度 目標利用者数	100 人	利用者実績	1,518 人	達成率	1,518.0%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
さんさん広場 活用交流事業	・商工会、商工 会議所	・宿の市（朝市）開催 ・エコビアガーデン 518 人	会場使用料助成 など	広見線利 用者数	
わいわい館活 用交流事業	・観光協会、御 嵩町	御嵩駅前交流施設「わいわ い館」で名鉄利用者におもて なし 1,000 人	おもてなし	広見線利 用者数	

2) 広見線の魅力の向上施策の展開による利用促進事業

H22 年度 目標利用者数	4,010 人	利用者実績	1,009 人	達成率	25.2%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
名鉄広見線写 真コンテスト	観光協会	広見線沿線風景の写真コン テストを実施。 50 人	イベント助成費	参加者数	
啓発グッズ作 成支援事業	住民団体	住民団体のアイデアを活 用した広見線利用啓発グッ ズの検討、作成	のぼり、缶バッジ作成	広見線利 用者等意 識	
名鉄広見線利 用者商店連携 事業	商工会、商工 会議所等	広見線利用者と協力商店の サービスを連携。 ・Wind 連携事業 262 人	・パンフレット印刷代 ・スタンプ台 など	特典利用 者数	
団体利用運賃 助成事業	活性化協議会	・10 名以上の団体に運賃助成 10 団体 697 人	・運賃助成（3 割）	運賃助成 利用者数	
名鉄広見線利 用者スタンプ 活用事業	活性化協議会	・広見線利用者が押せるスタ ンプ台を駅に設置	・スタンプ台 など	優待・特典 利用者数	

3 移動環境の整備による利用促進事業

① 乗り継ぎ機能の強化

H22年度 目標利用者数	7,300人	利用者実績	18,650人	達成率	255.5%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
御嵩駅駐車場等の充実・利用促進事業	御嵩町	・御嵩駅南駐車場 延べ9,325台 (9,325台×名鉄往復利用) 18,650人	御嵩町予算	駐車場・駐輪場の利用者数	
パーク&ライド用駐車場、サイクル&ライド用駐輪場利用紹介事業	活性化協議会	・利用可能場所、利用形態(無料・月極め・日利用)、利用状況などの案内を行い、利用を促す。	啓発用チラシ印刷代ほか	駐車場・駐輪場の利用者数	
・運行時刻や他の交通手段の乗り継ぎ時刻情報等の作成 ・駅周辺施設情報マップ等の作成	・観光協会 ・大学生	・路線図、時刻表、駅周辺情報マップ作成のための調査、ヒアリングの実施 ・名鉄御嵩駅～新可児駅と他路線、JRとの乗り継ぎ時刻表作成 ・駅周辺施設情報の掲載	・時刻表印刷	広見線利用者意識	
可児駅周辺整備事業	可児市	・可児駅前広場、駐輪場の整備	可児市予算		

② 駅アクセス利便性の向上

H22年度 目標利用者数	36,100人	利用者実績	33,086人	達成率	91.7%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
みたけE-CO(エコ)バス運行事業	御嵩町	・御嵩駅と工業団地、住宅団地を往復 32,847人	御嵩町予算	みたけE-COバス利用者数	
レンタサイクル事業	・観光協会 ・大学生	・御嵩駅にレンタサイクル設置 239人	御嵩町観光協会予算	レンタサイクル利用者数	

4 住民団体・サポーター事業

H22年度 目標利用者数	2,190人	利用者実績	9,811人	達成率	448.0%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳		フォローアップ指標
サポーターおもてなし事業	沿線住民、団体	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時のおもてなし助成 ささゆりまつり 862人 ささゆりウォーキング 4,367人 よつてりやあみたけ 1,132人 御嵩町産業祭 290人 中山道ウォーク 800人 など ・御嵩町職員会切符配布 1,320人 ・可児市互助会切符配布 1,040人 	御嵩町	可児市	<ul style="list-style-type: none"> ・広見線利用者等意識 ・イベント参加者のうち広見線利用者数 ・おもてなし参加者数
サポーター連携事業	活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動メニューを用意し、参加の機会を提供する。 ・自発的なサポーター活動の相談、活動団体との相互連携・交流の支援 	清掃等材料費		広見線利用者等意識

5 通勤等での利用促進事業

H22年度 目標利用者数	3,650人	利用者実績	3,764人	達成率	103.1%
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳		フォローアップ指標
電車通勤モニター事業	事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・電車通勤モニター制度 17名応募＝延べ3,764人 	・モニター通勤費助成		モニター意識

6 意識啓発事業

H22 年度 目標利用者数	—	利用者実績	—	達成率	—
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳		フォローアップ指標
意識啓発事業	活性化協議会	・沿線住民意見交換会 H23. 3. 26 実施 広見東公民館にて	・パネル展示ほか		参加者意識
沿線住民電車 利用モニター 事業	活性化協議会	・沿線住民の方から電車利用 モニターを募集し、マイカー から名鉄広見線に交通手段を シフトするための課題調査を 行うとともに、広見線利用の 動機付けと意識啓発を行う。	・事業費		モニター 意識
情報発信事業	活性化協議会	・ニュースレターを発行。 (毎月 1 回発行) ・活性化協議会ホームページ にて情報発信する。	・ニュースレター印刷 ・NL クイズ景品 ・NL 作成アドバイザー ・HP 作成委託		沿線住民 等の意識
モビリティ・ マネジメント 事業	活性化協議会	・マイカーから電車へ交通移 動手段の変容のための動機づ け資料や危機意識を促す資料 の作成、配布	・事業費		参加者意 識

◆平成 22 年度広見線利用促進事業取り組み成果結果

利用促進事業 総計

H22 年度 目標利用者数	63,840 人	利用者実績	76,081 人	達成率	119.2%
------------------	----------	-------	----------	-----	--------

・平成 22 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会歳入歳出決算報告（案）

<歳入の部>

（単位：円）

歳入科目	予算現額	流用額	決算額	比較増減額	説明
1. 負担金	6,025,000		6,025,000	0	御嵩町 3,525 千円 可児市 2,500 千円
2. 繰入金	1,000		480,985	-479,985	前年度繰越金
3. 雑入	4,000		725	3,275	利息等
合計	6,030,000	0	6,506,710	-476,710	

<歳出の部>

（単位：円）

収入科目	予算現額	流用額	決算額	比較増減額	説明
1. 旅費	92,000		19,500	72,500	費用弁償 職員旅費
2. 会議費	47,000		4,550	42,450	
3. 事務費	277,000		161,046	115,954	郵便代外
4. 利用促進 事業費	5,614,000		3,778,623	1,835,377	
			事業内訳		
			①学校団体を主体とする利用促進事業		398,500 円
			②経済団体を主体とする利用促進事業		823,470 円
			③移動環境整備による利用促進事業		0 円
			④住民団体・サポーター事業		0 円
			⑤通勤等での利用促進事業		148,180 円
			⑥意識啓発事業		2,408,473 円
合計	6,030,000	0	3,963,719	2,066,281	

歳入合計額 6,506,710 円
 歳出合計額 3,963,719 円
 差引残高 2,542,991 円

上記の残高は、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 平成 23 年度へ繰り越すものとする。

平成 23 年 3 月 31 日

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会
 会長 御嵩町長 渡辺 公夫

監 査 報 告 書

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会会計事務規程第7条の規定により、平成22年度決算について監査を実施し、証拠書類、帳簿等について監査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

平成23年5月25日

監 事 御嵩町議会議長 鈴木元八

監 事 可児市議会議長 可児慶志

名鉄広見線活性化協議会
会長代理 可児市長 富田成輝 様

※原本は事務局にて保管しております。

平成 23 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 歳入歳出補正予算
（第 1 号）について

・平成 23 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会歳入歳出補正予算（第 1 号）（案）

<歳入の部>

（単位：千円）

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額	説 明
1. 負担金	6,100	0	6,100	御嵩町 3,600 千円 可児市 2,500 千円
2. 繰入金	1	2,541	2,542	前年度繰越金
3. 雑入	1	0	1	利息等
合計	6,102	2,541	8,643	

<歳出の部>

（単位：千円）

科 目	当初予算額	補正予算額	予算現額	説 明
1. 旅費	48	0	48	費用弁償 職員旅費
2. 会議費	10	0	10	
3. 事務費	200	0	200	郵便代外
4. 利用促進 事業費	5,844	2,541	8,385	
		事業内訳		
		①学校団体を主体とする利用促進事業	123 (583)	
		②経済団体を主体とする利用促進事業	1,570 (2,240)	
		③移動環境整備による利用促進事業	400 (206)	
		④住民団体・サポーター事業	40 (344)	
		⑤通勤等での利用促進事業	190 (450)	
		⑥意識啓発事業	218 (2,021)	
合計	6,102	2,541	8,643	

平成 23 年度 名鉄広見線活性化計画の進捗状況について

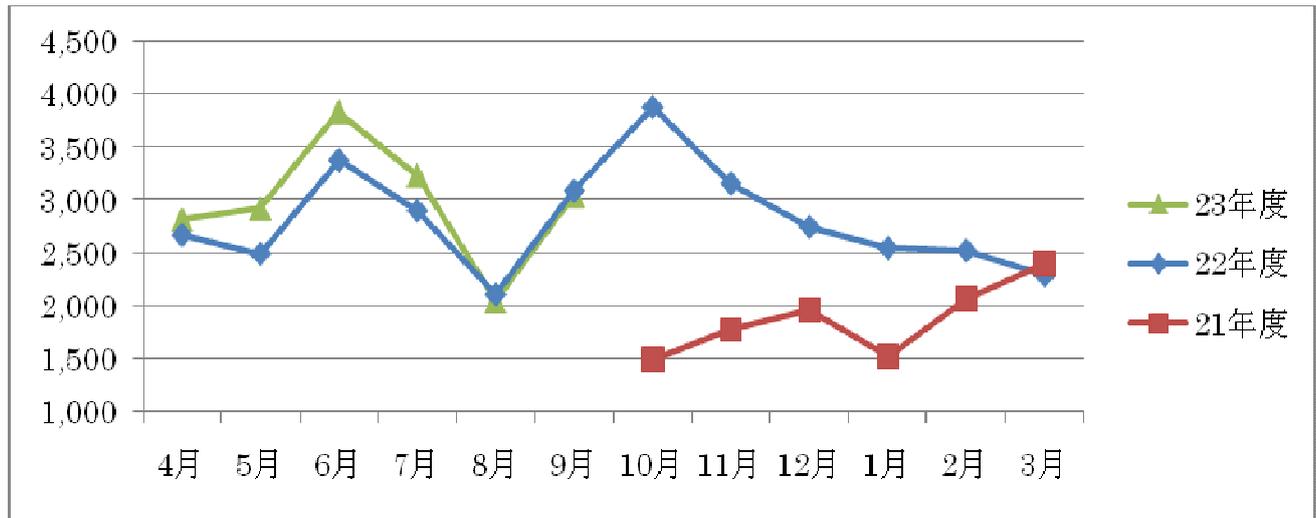
(H23.10.31 現在)

項目	実施内容	利用者数(H22)	利用者数(H23)
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学、体験学習など ・保育園行事 ・定期券購入 	(18 団体) 2,312 人 (24 団体) 2,031 人 (御嵩小) 1,380 人 小計 5,723 人 ・目標数 5,840 人 ・達成率 98.0%	(9 団体) 726 人 (10 団体) 772 人 (御嵩小) 1,080 人 小計 2,578 人 ・目標数 5,840 人 ・達成率 44.1%
2. 経済団体を主体とする利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・オヤコクエスト ・エコビアガーデン ・Wind5 月号連携事業 ・わいわい館活用交流事業 ・観光案内所活用交流事業 ・フォトコンテスト ・団体助成制度 ・回数乗車券助成制度 	2,520 人 518 人 262 人 1,000 人 -人 50 名 (11 団体) 697 人 -人 小計 5,047 人 ・目標数 8,760 人 ・達成率 57.6%	-人 (6 回開催) 1,900 人 -人 120 人 37 人 -人 (14 団体) 544 人 (16 名) 291 人 小計 2,892 人 ・目標数 8,760 人 ・達成率 33.0%
3 移動環境の整備による利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩駅南駐車場 ・E-COバス運行事業 ・レンタサイクル事業 	18,650 人 32,847 人 239 人 小計 51,736 人 ・目標数 43,400 人 ・達成率 119.2%	9,382 人 17,934 人 141 人 小計 27,457 人 ・目標数 77,410 人 ・達成率 35.5%
4 住民団体・サポーター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ささゆりまつり ・ささゆりウォーキング ・よつてりやあみたけ ・御嵩町産業祭 ・中山道ウォーク ・かも1グランプリ ・御嶽宿こいのぼり事業 ・流しそうめんの聖地PR事業 ・絆コンサート ・活性化サポーター活動 ・御嵩町職員会事業 ・可児市互助会事業 	862 人 4,367 人 1,132 人 290 人 800 人 -人 -人 -人 -人 -人 1,320 人 1,040 人 小計 9,811 人 ・目標数 2,190 人 ・達成率 448.0%	180 人 2,305 人 1,102 人 200 人 -人 2,188 人 2,500 人 600 人 318 人 11 人 660 人 -人 小計 10,064 人 ・目標数 2,190 人 ・達成率 459.5%
5 通勤等での利用促進事業	電車通勤モニター補助制度	(17 名) 3,764 人 ・目標数 3,650 人 ・達成率 103.1%	(20 名) 3,840 人 ・目標数 7,300 人 ・達成率 52.6%
合計		76,081 人	46,831 人
(活性協目標利用者数)		63,840 人	101,500 人
達成率		119.2%	46.1%

・平成 23 年度利用状況資料

みたけ eco バス利用状況 (活性協調)

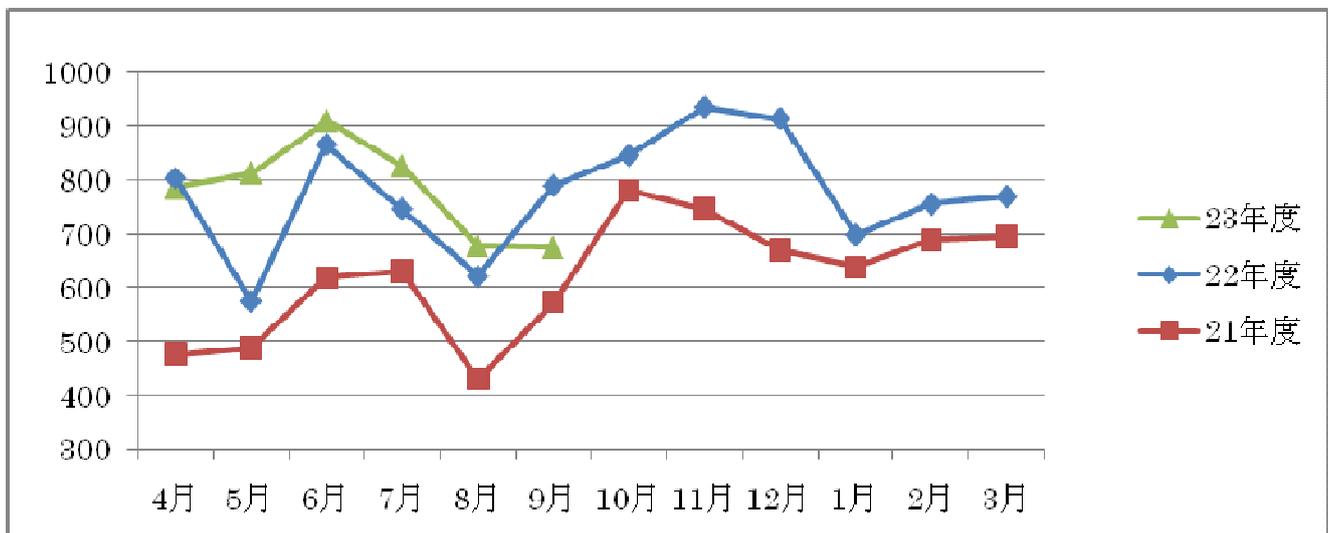
単位：人



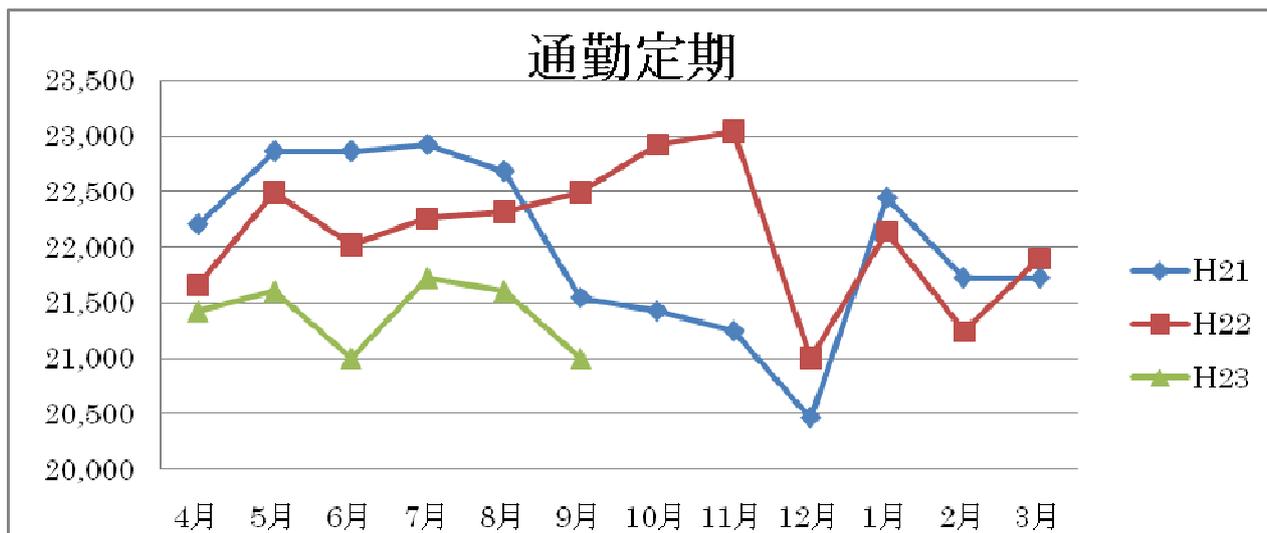
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
21年度	-	-	-	-	-	-	1,492	1,776	1,964	1,527	2,065	2,403	11,227	
22年度	2,677	2,498	3,383	2,907	2,114	3,094	3,885	3,162	2,752	2,553	2,529	2,293	33,847	
23年度	2,822	2,927	3,840	3,242	2,056	3,047							17,934	
													前年比	53.0%

名鉄御嵩駅南駐車場利用状況 (活性協調)

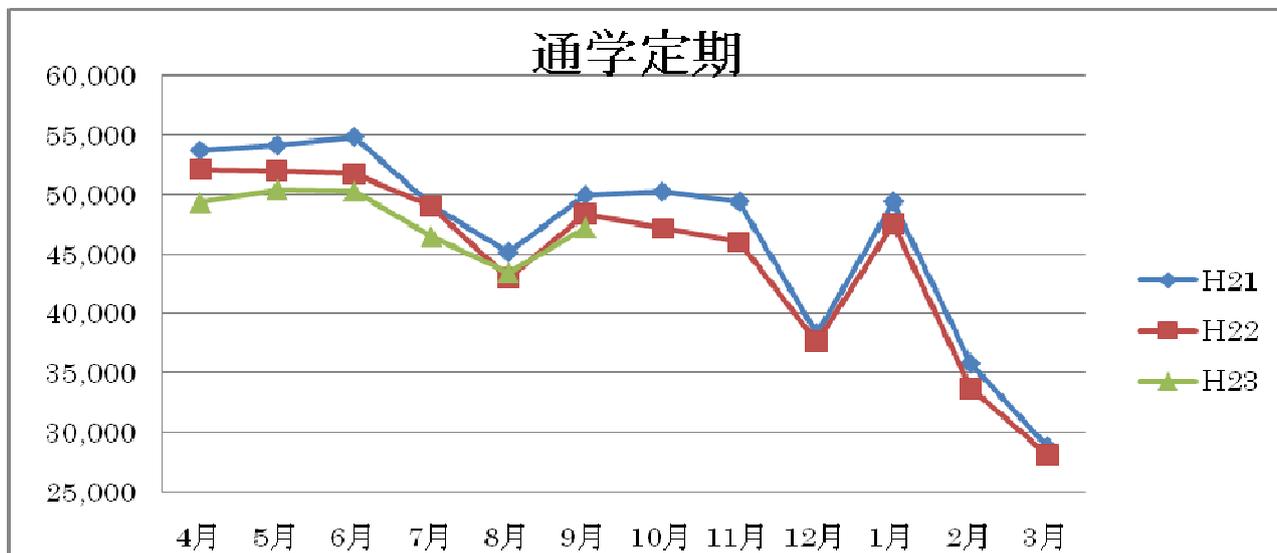
単位：人



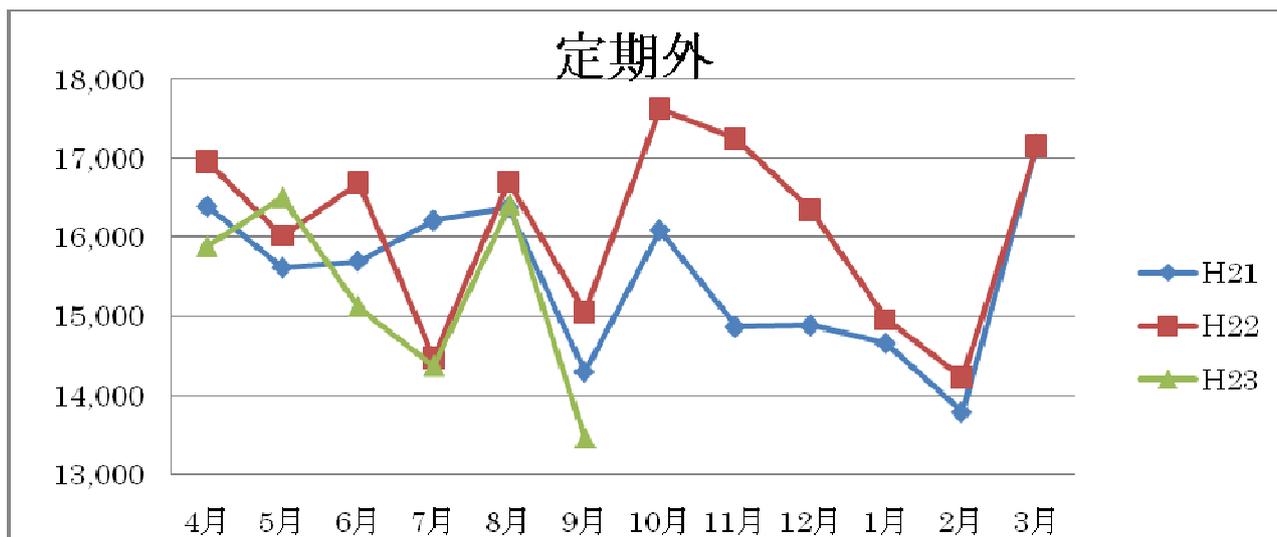
台数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
21年度	477	489	619	632	432	574	781	746	671	639	689	696	7,445	
22年度	804	576	866	747	622	790	846	935	914	699	756	770	9,325	
23年度	786	814	911	827	678	675							4,691	
													前年比	50.3%



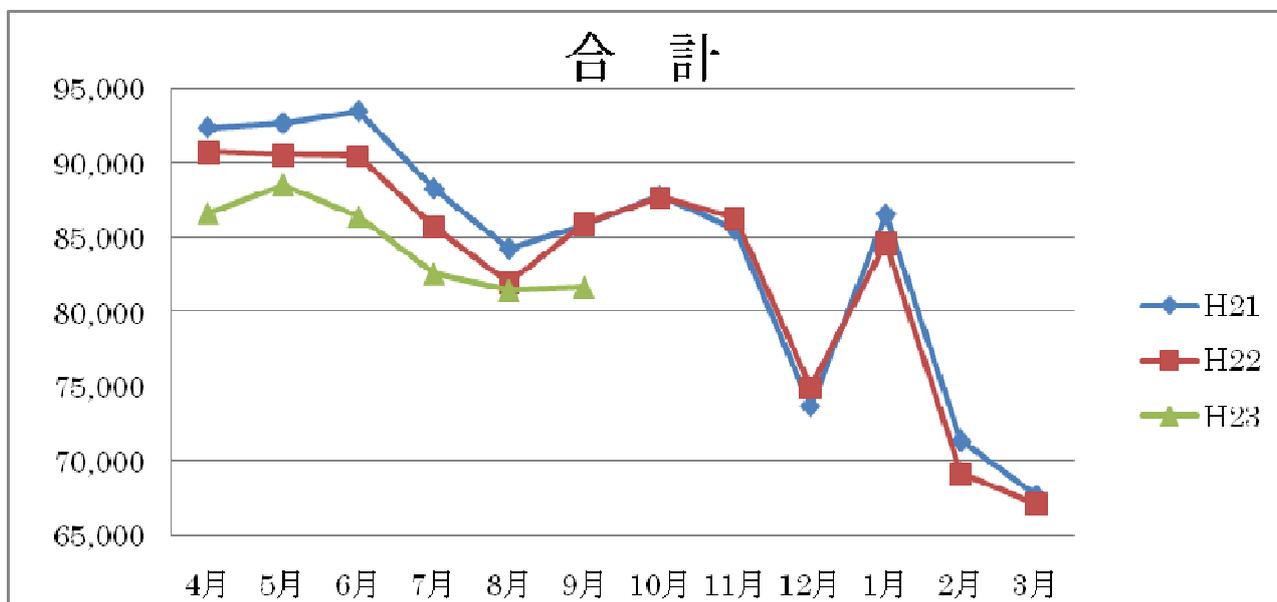
通勤	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
H21	22,200	22,860	22,860	22,920	22,680	21,540	21,420	21,240	20,460	22,440	21,720	21,720	264,060	
H22	21,660	22,500	22,020	22,260	22,320	22,500	22,920	23,040	21,000	22,140	21,240	21,900	265,500	
H23	21,420	21,600	21,000	21,720	21,600	21,000							128,340	
													前年比	48.3%



通学	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
H21	53,760	54,180	54,900	49,140	45,180	49,980	50,280	49,440	38,340	49,440	35,820	28,800	559,260	
H22	52,140	52,020	51,780	49,020	42,960	48,360	47,160	46,020	37,620	47,520	33,720	28,080	536,400	
H23	49,320	50,400	50,280	46,500	43,440	47,220							287,160	
													前年比	53.5%



定期外	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
H21	16,396	15,618	15,700	16,216	16,385	14,297	16,094	14,866	14,883	14,659	13,781	17,183	186,078	
H22	16,969	16,030	16,689	14,484	16,706	15,061	17,642	17,259	16,347	14,962	14,221	17,171	193,544	
H23	15,885	16,510	15,122	14,367	16,419	13,446							91,749	
													前年比	47.4%



合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
H21	92,356	92,658	93,460	88,276	84,245	85,817	87,794	85,546	73,683	86,539	71,321	67,703	1,009,398	
H22	90,769	90,550	90,489	85,764	81,986	85,921	87,722	86,319	74,967	84,622	69,181	67,151	995,441	
H23	86,625	88,510	86,402	82,587	81,459	81,666							507,249	
													前年比	51.0%

◆名鉄広見線利用促進平成 23 年度実施計画について

まちづくりや暮らしに必要な名鉄広見線を存続していくため、住民一人ひとりの交通行動を変えていくことが鍵であり、そのための施策を関係者が協力しながら展開していくため、名鉄広見線活性化計画に掲げた利用促進策を具体的に実施するための実施計画を定める。

平成 23 年度について掲げ、取組の実施、評価、分析を行いながら 24 年度以降の実施計画につなげていくこととする。

◆名鉄広見線活性化計画より

目標を達成するための施策

利用促進策の展開

名鉄広見線対策協議会に参画する団体・組織をはじめとする関係者が、主体的に、また連携を図りながら利用促進策に取り組む。

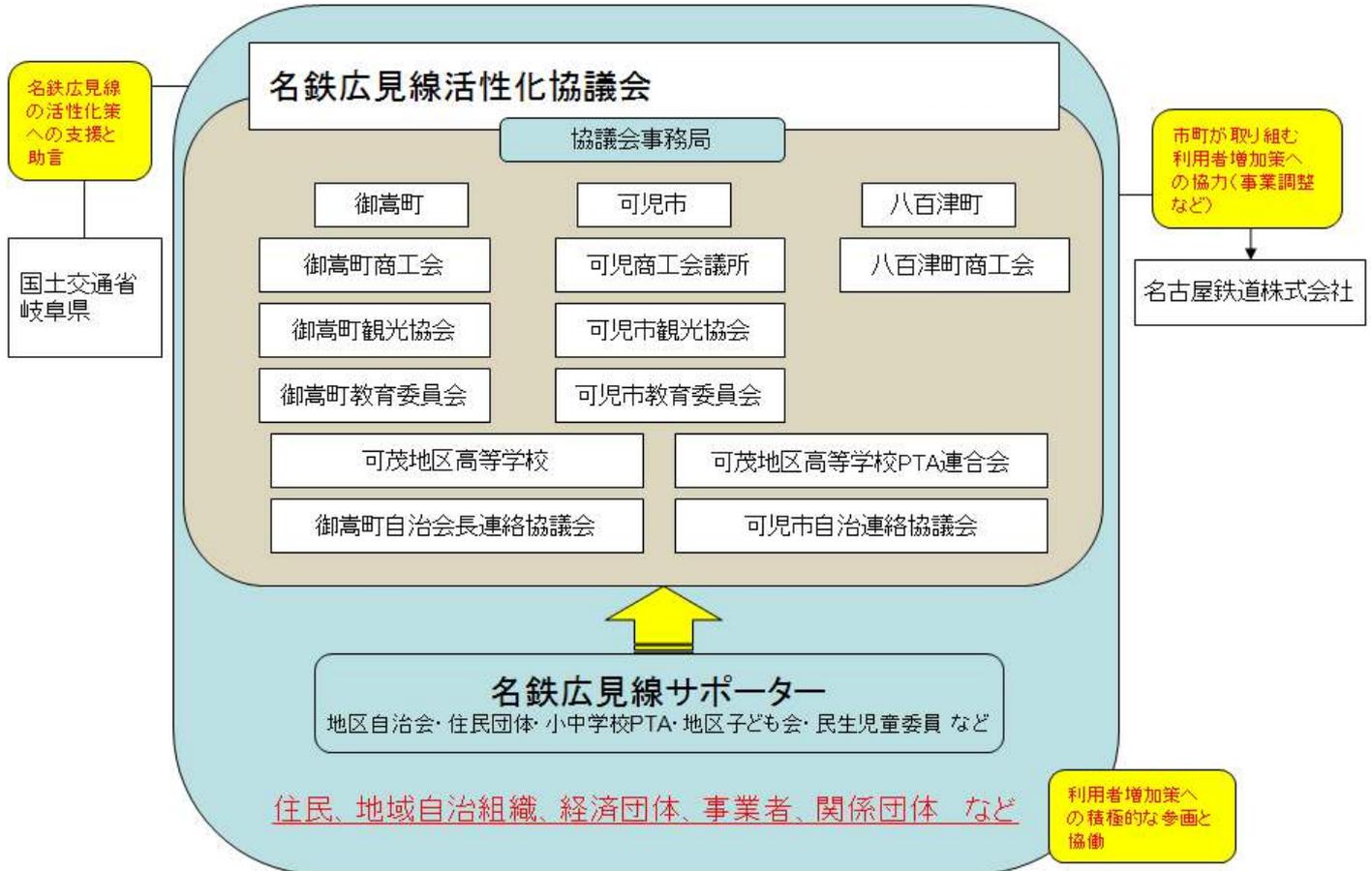
表 名鉄広見線の活性化に向けた施策メニュー

施策の方向	施策の区分	具体的な施策メニュー（例）
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進策	1) 遠足、社会見学等における利用促進	● 学校行事での利用促進
	2) 学生・生徒による活性化	● 学生・高校生中心とする利用促進
2. 経済団体（商工会・商工会議所、観光協会等）を主体とする利用促進策	1) まちづくり等との連携	①既存のまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進 ● 御嵩町産業祭 ● みたけの森ささゆりまつり
		②新たなまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進 ● ハイキング・ウォーキング（名勝・旧跡めぐり） ● 観光バスツアー ● スタンプラリー ● イベント企画提案事業
	2) 広見線そのものの魅力の向上施策の展開による利用促進	③駅周辺における交流拠点整備 ● 御嵩駅周辺賑わい創出 ● 駅・列車を用いたイベント ● 名産品等のグッズ販売 ● 広見線利用が特典となる仕組み
3. 移動環境の整備による利用促進	—	①乗り継ぎ機能の強化 ● パークアンドライド用駐車場の充実・利用促進 ● サイクルアンドライド用駐輪場の利用促進 ● 運行時刻や乗り継ぎ情報、周辺施設情報等の提供 ②駅アクセス利便性の向上 ● シャトルバス等の運行 ● レンタサイクルの実施
4. 住民団体・サポーター制度	—	● 組織づくり ● 支援拠点の設置、充実
5. 通勤等での利用促進	—	● 通勤時、出張時の利用促進
6. 意識啓発	—	● ワークショップ等による意識啓発 ● モビリティ・マネジメントの実施

計画の推進体制

本計画は、名鉄広見線活性化協議会を中心に、以下に示す経済団体、各種団体及び地域住民、交通事業者が一体となって具体的利用促進策を実施するものとする。

図 名鉄広見線利用促進推進体制図



<期待される役割>

主体	期待される役割
住民、地域自治組織、経済団体、事業者、関係団体 など	現在又は将来において、公共交通を利用する主体であり、かつ自ら公共交通を支える主体としての意識を持って、直接・間接に受益者として利用者増加策に積極的な参画と協働を行う。
行政	住民の生活を支えるべき基礎自治体として、住民の移動手段を確保するため、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の維持存続に努め、住民など関係者とともにも名古屋鉄道と連携を図り、利用者増加策に取り組む。
国・岐阜県	名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者増加策への支援と助言を行う。
名古屋鉄道株式会社	公共交通サービスの直接の供給者であり、市町が取り組む利用者増加策の具体化に向けた事業調整に参画するなど可能な範囲で協力する。

◆平成 23 年度名鉄広見線活性化実施計画について

1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進事業

1) 遠足、社会見学等における利用

H23 年度 目標利用者数	3,650 人	事業費	611 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
電車を活用した学校等行事	保育園・幼稚園・小学校・中学校など	・園外活動や校外活動に、電車を使った活動として実施し、公共交通を通じた社会性を育む。 ・沿線地域外の学校遠足招致資料作成と紹介	・運賃補助 (5 割) ・啓発用チラシ ・学生等旅費 事業費 307 千円	広見線利用者数	
可児市文化創造センター中学校音楽会	中学校	・御嵩町内中学校の学校行事の音楽会を可児市の施設で行い、広見線利用者増加に寄与する。	・運賃補助 (5 割) ・会場使用料補助 事業費 304 千円	広見線利用者数	
交通環境学習カリキュラムの導入	小学校	・日常の生活や行動が環境問題や交通問題の解決に貢献できるという喜びを実感することを目標として、「交通・環境学習」を実施する。	御嵩町予算	対象児童の意識	

2) 児童・生徒などによる活性化

H23 年度 目標利用者数	2,190 人	事業費	95 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
保育園や小学校による駅七夕飾りや作品掲示	保育園、幼稚園、小学校	・園児や児童の駅飾り等を実施し、電車への関心を園児や児童の頃から育む。	材料代 など 事業費 30 千円	広見線利用者等の意識	
学生・生徒による駅舎美化活動	高校生、大学生	・御嵩口、顔戸、明智各駅美化(ペンキ塗装)によるマイルール意識の向上と意識啓発 ※エコモビ隊による調査結果等を反映	材料代 など 事業費 65 千円	広見線利用者等の意識	
高校生等の視点による情報をまとめ記事として掲載	高校生等	・高校生や地域住民、これから利用する中学生などの声、沿線いいこと探し(自然、お店など)など協議会事務局が発行する活性化ニュースの一部として記事掲載を担う。	活性化ニュース製作、発行費	沿線住民等の意識	

2. 経済団体（商工会・商工会議所、観光協会等）を主体とする利用促進事業

1) まちづくり等との連携

① 既存のまちづくりイベントや催し物との連携

H23年度 目標利用者数	450人	事業費	-	
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町産業祭 ・中山道御嶽宿往来 ・よつてりゃあみたけ夏まつり ・可児夏まつり ・みたけの森ささゆりまつり など 	商工会・商工会議所、観光協会等	<ul style="list-style-type: none"> ・資源を活かし、活性化に向けて実施している既存のイベントを広見線利用者へ結びつける。 	イベントおもてなし事業費	広見線利用者数

② 新たなまちづくりイベントや催し物との連携

H23年度 目標利用者数	4,200人	事業費	2,793千円	
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
地域資源発掘とバスツアープランニング事業	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会・商工会議所、観光協会等 ・大学生 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の史跡や資源を活かした日帰り観光ツアーを企画し、名鉄沿線市町に広くPRする。 ・沿線駅発着バスツアーのプランを作り、観光事業者等にPRする。 	学生等旅費 チラシ印刷代 など 事業費 150千円	広見線利用者数
地域資源発掘とウォーキングコースプランニング事業	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会・商工会議所、観光協会等 ・大学生 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済団体や学生などにより地域の資源を活かした沿線駅発着ウォーキングコース(第2弾)のプランを作り、近隣市町村を含め広くPRする。 	学生等旅費 チラシ印刷代 など 事業費 1,619千円	広見線利用者数
かも1グランプリ協賛事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化協議会 ・商工会・観光協会等 	<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩駅前で開催される食のイベント時(B1グルメコンテスト)に、名鉄利用特典を付与し、広見線利用をPRする。 	報償費 チラシ印刷代 など 事業費 600千円	広見線利用者数
名鉄Wind連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄情報紙に広見線沿線の商店や見どころマップを掲載し、名鉄との連携によりPRを実施する。 	事業費助成 ・事業費 100千円	見線利用者数
地域探検事業 (オヤコクエスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化協議会 ・御嵩町 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を活かした参加型まちなか探検ゲームを企画し、近隣市町を含めた名鉄沿線住民に広くPRする。 	事業費助成 ・事業費 324千円	広見線利用者数

③ 駅周辺における交流

H23 年度 目標利用者数	100 人	事業費	130 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
さんさん広場活用 交流事業	・商工会、商工会 議所	“宿の市（朝市）”を行う御嵩 駅南にある「さんさん広場」で 沿線地域のお店の出店の斡旋・ 支援を行う。	会場使用料助成 など 事業費 100 千円	広見線利 用者数	
わいわい館活用交 流事業	・観光協会、御嵩 町	御嵩駅前御嶽宿街道沿いに ある交流施設「わいわい館」で 特産品販売等おもてなしやミ ニイベント等による来訪者機 会創出の場をつくる。	御嵩町予算 事業費 30 千円	広見線利 用者数	

2) 広見線の魅力の向上施策の展開による利用促進事業

H23 年度 目標利用者数	4,010 人	事業費	887 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
名鉄広見線写真コ ンテスト	観光協会・活性化 協議会	広見線沿線風景の写真コンテ ストの実施及び入賞作品等の グッズ化を図る。	報償費 グッズ化等経費 など 事業費 200 千円	参加者数	
啓発グッズ作成支 援事業	住民団体	住民団体のアイデアを活用 した広見線利用啓発グッズの 検討、作成	材料費助成 グッズ(既包含む)のイ ベント時配布 など 事業費 190 千円	広見線利 用者等意 識	
名鉄広見線利用者 商店連携事業	商工会、商工会議 所等	広見線利用者と協力商店のサ ービスを連携させる。	・パンフレット印刷代 ・スタンプ台 など 事業費 250 千円	特典利用 者数	
団体利用運賃助成 事業	活性化協議会	・10名以上の御嵩町、可児市、 八百津町に居住する者で構成 する団体が、新可児駅～御嵩駅 間で乗車又は降車する場合に 上記区間の運賃を助成する。	・運賃助成（3割） ・消耗品 など 事業費 247 千円	運賃助成 利用者数	

3 移動環境の整備による利用促進事業

① 乗り継ぎ機能の強化

H23 年度 目標利用者数	13,870 人	事業費	573 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
御嵩駅駐車場等の 充実・利用促進事業	御嵩町	・パーク＆ライド用駐車場、 サイクル＆ライド用駐輪場の整 備	御嵩町予算	駐車場・駐 輪場の利用 者数	
パーク＆ライド用 駐車場、サイクル＆ ライド用駐輪場利 用紹介事業	活性化協議会	・利用可能場所、利用形態（無 料・月極め・日利用）、利用状 況などの案内を行い、利用を促 す。	啓発用チラシ印刷代 ほか 事業費 230 千円	駐車場・駐 輪場の利用 者数	
・運行時刻や他の交 通手段の乗り継ぎ 時刻情報等の作成 ・駅周辺施設情報マ ップ等の作成	・観光協会 ・大学生	・路線図、時刻表、駅周辺情報 マップ作成のための調査、ヒア リングの実施 ・名鉄御嵩駅～新可児駅と他路 線、J R との乗り継ぎ時刻表作 成 ・駅周辺施設情報の掲載	・学生旅費 ・掲示用パネル ・案内用チラシ印刷 など 事業費 343 千円	広見線利 用者意識	
可児駅周辺整備事 業	可児市	・可児駅前広場、駐輪場の整備	可児市予算		

② 駅アクセス利便性の向上

H23 年度 目標利用者数	63,540 人	事業費	33 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
みたけ E-CO(エコ) バス運行事業	御嵩町	・みたけ工業団地や住宅団地を 走るみたけ E-CO バスの運行継 続及び P R を実施し、利用者増 加のためのダイヤ改正を図る。	御嵩町予算	みたけ E-CO バス 利用者数	
レンタサイクル事 業	・観光協会 ・大学生	・御嵩駅のレンタサイクルよる サイクリングコースの調査・設 定 ・乗り継ぎや周辺施設情報マッ プへの掲載	・学生旅費 ・案内チラシ など 事業費 33 千円	レンタサ イクル利 用者数の うち広見 線利用者 数	

4 住民団体・サポーター事業

H23 年度 目標利用者数	2,190 人	事業費	384 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
サポーターおもてなし事業	沿線住民、団体	沿線の個人、団体などによる ・イベント時のおもてなしの取り組みへの助成 ・日常なおもてなしの取り組みへの助成	・イベントおもてなし助成 ・おもてなし企画提案助成 事業費 263 千円	・広見線利用者等意識 ・イベント参加者のうち広見線利用者数 ・おもてなし参加者数	
サポーター連携事業	活性化協議会	・活動メニューを用意し、参加の機会を提供する。 (※アダプトプログラム) ・自発的なサポーター活動の相談、活動団体との相互連携・交流の支援	清掃等材料費 など 事業費 50 千円	広見線利用者等意識	
エコモビ隊による駅環境調査及び清掃等事業	活性化協議会	・住民団体等によるエコモビ隊を編成し、鉄道利用環境調査を実施し、バリアフリー化や施設設備の改善に調査結果を反映させる。(名鉄要望含む)	清掃等材料費・交通費など 事業費 71 千円	広見線利用者等意識	

5 通勤等での利用促進事業

H23 年度 目標利用者数	7,300 人	事業費	640 千円		
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標	
電車通勤モニター事業	事業所・沿線住民	・学校、事業所、沿線住民等に対し、電車通勤(通学)モニターを募集し、広見線を利用した電車通勤への課題調査を行うとともに、電車通勤への動機付けと意識啓発を行う。	・モニター通勤費助成など 事業費用 640 千円	モニター意識	

6 意識啓発事業

H23 年度 目標利用者数	—	事業費	2,239 千円	
利用促進事業	実施主体	実施内容	事業費内訳	フォローアップ指標
意識啓発事業	活性化協議会	・鉄道シンポジウムを開催し、意識啓発、マイレール意識向上を図る。	・シンポジウム、パネル展示 ・有識者報償費 事業費 345 千円	参加者意識
沿線住民電車利用モニター事業	活性化協議会	・沿線住民の方から電車利用モニターを募集し、マイカーから名鉄広見線に交通手段をシフトするための課題調査を行うとともに、広見線利用の動機付けと意識啓発を行う。	・モニター電車利用助成 など 事業費 87 千円	モニター意識
情報発信事業	活性化協議会	・利用促進に関する取り組みをできるだけ「見える化」とするために活性化ニュースを発行する。(毎月1回) ・活性化協議会のホームページを随時更新し、最新情報を発信する。	・活性化ニュース印刷代 9,500 部・3 回/年 10,200 部×9 回/年 ・郵送料 ・アドバイザー報償費 など 事業費 1,584 千円	沿線住民等の意識
モビリティ・マネジメント事業	活性化協議会	・マイカーから電車へ交通移動手段の変容のための動機づけ資料や危機意識を促す資料の作成、配布	・チラシ印刷代 ・有識者報償費 など 事業費 223 千円	参加者意識

平成22年度 名鉄広見線活性化協議会利用促進事業について

- ◆目標1,082千人に対し、実績は995千人(87千人下回った)。
- ◆21年度実績1,009千人から14千人の減(定期外+7千人、通勤+2千人、通学△23千)。

①目標

単位:千人

区分	H22	H23	H24
通勤	308	327	331
通学	558	558	558
定期外	216	221	222
合計	1,082	1,106	1,111

取組

③利用実績

(資料提供:名鉄) 単位:千人

区分	H21	H22	比較増減
通勤	264	266	+2
通学	559	536	△23
定期外	186	193	+7
合計	1,009	995	△14

結果

分析

②協議会の利用促進事業

分野	主な実施内容	目標利用者数	利用者数
学校教育関係の組織を主体とする利用促進	・校外学習利用(42団体) ・夏休みプール定期利用(御嵩小23人)等	5,840人	5,723人
経済団体を主体とする利用促進	・団体助成制度(11団体) ・駅前ビアガーデン(3回開催) 等	8,760人	5,047人
移動環境の整備による利用促進	・駅前駐車場(御嵩駅前に48台分確保) ・ECOバス運行 ・レンタサイクル事業(御嵩駅前に4台)	43,400人	51,736人
住民団体・サポーター	・各種イベント(よってりやあみたけ など)	2,190人	9,811人
通勤等での利用促進	電車通勤モニター制度(17名)	3,650人	3,764人
	合計	63,840人	76,081人

④23年度の重点的取り組み

- 1. 通勤、通学利用の拡大**
→電車通勤モニター制度の充実、
→PR強化 等
- 2. 定期外利用の一層の拡大**
→団体助成制度の充実
→外から人が呼べるイベント開催
- 3. 移動環境の一層の整備**
→団体等と連携した環境整備

平成23年度 名鉄広見線活性化協議会利用促進事業について

- ◆23年度上半期(4-9月)利用者数は507千人と前年度同期比97%(△18千人)。
- ◆下半期利用者数は22年度、21年度の傾向から上半期よりも伸び率は落ちる(22年度=90%、21年度=88%)。→正念場との認識のもと下半期の活動を強化。

①利用実績 & 推計

単位:千人

区分	H22(上半期)実績	H23(上半期)実績	上半期比較
通勤	133	128	△5(96%)
通学	296	287	△9(97%)
定期外	96	92	△4(96%)
合計	525	507	△18(97%)

区分	H22(下半期)の伸び率	H21(下半期)の伸び率
通勤	100%	96%
通学	81%	82%
定期外	101%	97%
合計	90%	88%

※参考:各年度の上半期を100%とした場合の下半期の比率

②協議会の主な利用促進策



取組項目	上半期の取組	下半期の取組
学校教育関係の組織を主体とする利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校等への働きかけ(一市二町の小・中校長会等延べ39回訪問) ○学校等団体郊外学習等利用=19団体(延べ1,498人)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校等への働きかけ強化(40回訪問予定) ○学校等団体郊外学習等利用依頼
経済団体を主体とする利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○利用団体補助制度の充実(補助率3割→5割、対象団体10名→5名、対象区間を新可児駅→西可児駅へ拡充)=14団体利用(544人利用) ○回数乗車券購入補助制度新設(購入費用の5割補助)=16人(延べ291人)利用 ○YAOバス利用団体補助制度新設(YAOバス運賃3割補助)=団体利用なし ○駅前ピアガーデン(6回開催) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○町商工会・観光協会等とタイアップしたイベント(さんさん広場での出店・オヤコエトなど)実施 ○沿線ウォーキングマップの活用 ○自転車サイクルマップの作成(町観光協会)
移動環境の整備による利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○レンタサイクル事業(通常自転車4台→電動アシスト自転車2台導入) ○駅前無料駐車場(4,691台利用) ○ECOバス運行(17,934人利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「県低炭素型交通モデル事業」でさらに電動アシスト自転車を4台導入予定(町観光協会) ○駅前駐車場舗装及び駐輪場整備実施(3月まで)
住民団体・サポーター	<ul style="list-style-type: none"> ○各種イベント(かも1グランプリを御嵩駅前にて開催 約1万人来町) など 	<ul style="list-style-type: none"> ○11月を「広見線利用促進強化月間」とし、あずさフェスタ、中山道往来、映画会&ウォーキングほかのイベントを実施中
通勤等での利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○電車通勤モニター制度の充実(補助率1/2→2/3、再継続者に同様の補助も)=20名(延べ3,840人)利用 ○企業等への働きかけ(カヤバ工業㈱のほか延べ21社訪問) ○可茂地区内高等学校生徒へ電車通勤等モニター制度周知チラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業等への働きかけ強化(20社訪問予定) ○MM(モビリティ・マネジメント=過度に自動車に頼る状態から公共交通機関などをかしく使う方法へと自発的に転換していくこと)の周知強化

広見線（新可児～御嵩駅間）の概況

営業キロ：7.4キロ

駅数：5駅（有人駅：新可児駅）

基本ダイヤ：2本/時

運行本数：（平日）80本/日、（土休日）72本/日

列車組成：2両

1 輸送人員及び輸送密度の推移

（単位：千人/年、人/日）

年度 種別	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	前年比	12年度比	
輸送人員 (千人/年)	通勤	377	346	313	302	312	288	290	289	285	264	266	0.8%	▲29.4%
	通学	1,021	969	808	721	671	641	570	588	582	559	536	▲4.1%	▲47.5%
	定期計	1,398	1,315	1,121	1,023	983	929	860	877	867	823	802	▲2.6%	▲42.6%
	定期外	368	354	295	280	259	229	221	218	205	186	193	3.8%	▲47.6%
	合計	1,766	1,669	1,416	1,303	1,242	1,158	1,081	1,095	1,072	1,009	995	▲1.4%	▲43.7%
輸送密度 (人/日)	3,365	3,252	2,834	2,625	2,529	2,420	2,257	2,274	2,234	2,118	2,122	0.2%	▲36.9%	

※平成13年10月1日 八百津線（明智～八百津）廃止

2 駅別一日乗降人員の推移

（単位：人/日、%）

駅名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	前年比	平成20年度	前年比	平成21年度	前年比	平成22年度	前年比	17年度比
新可児	5,218	4,965	5,115	3.0	5,113	0.0	4,940	▲3.4	4,866	▲1.5	▲6.7
うち御嵩方面	999	904	951	5.2	971	2.1	918	▲5.5	901	▲1.9	▲9.8
明智	1,289	1,201	1,217	1.3	1,185	▲2.6	1,093	▲7.8	1,006	▲8.0	▲22.0
顔戸	190	185	205	10.8	199	▲2.9	180	▲9.5	177	▲1.7	▲6.8
御嵩口	316	288	293	1.7	311	6.1	293	▲5.8	320	9.2	1.3
御嵩	1,576	1,472	1,471	▲0.1	1,434	▲2.5	1,365	▲4.8	1,378	1.0	▲12.6

3 収支

（単位：千円、%）

	22年度	(参考)		
		21年度	差異	増減率
収入合計 (A2)	81,166	81,594	▲428	▲0.5
支出合計 (B2)	264,090	278,367	▲14,277	▲5.1
経常損益 (A2-B2)	▲182,924	▲196,773	13,849	7.0

（以上）

東濃高等学校活性化に向けて

地域に根ざした東濃高等学校
～地域に貢献できる生徒の育成～

学習指導

基礎学力定着

【学びなおし】

キャリア教育の充実

【1年次の進路学習】

類型の充実

【7つの類型】

生徒指導

認め守らせ伸ばす

【加点法・評価の可視化】

【規則遵守の指導徹底】

部活動の活性化

【部活動に打ち込む】

集団指導

【帰属意識の向上】

学ぶ環境づくり

定員の適正化

【現実的な定員数】

細やかな指導の充実

【少人数の授業】

【外国人生徒への支援】

【退学者・休学者の減少】

東濃高等学校で進路実現

◎1年生は・・・
自分の学級で基礎基本の力を付けながら、進路を考える学習をします。担任を中心にきめ細やかに、寄り添いながら、指導します。

↑
進路適性検査
職業別ガイダンス
大学等見学会
履修科目登録相談
など

◎2, 3年生は・・・
「類型」に分かれ、進路実現に向けて学習

自然科学類型

数学、理科

社会科学類型

国語、社会

国際文化類型

異文化理解

看護・保育類型

保育 他

地域交流類型

地域学習

工業技術類型

工業科目

商業ビジネス類型

商業科目

理系大学
理系短大
専門学校

文系大学
文系短大
専門学校

医療系
専門学校

就職
専門学校

※地域交流類型は、24年度入学生に関しては社会科学類型に含む。